

大規模土砂災害を想定した合同防災訓練を実施

～大規模災害に備え、関係機関と連携した防災行動を確認・共有しました～

国土交通省松本砂防事務所では、地域の安全・安心確保のため管内の関係行政機関とともに土砂災害発生時に対し迅速な対応が行えるよう防災訓練を実施しています。令和6年度は大町市において大規模な土砂災害及び同時多発的な土砂災害が発生したと想定し、関係機関の連携などの対応についてリモートによる情報共有を活用し、訓練を実施しました。

- 日時：令和6年10月9日（水）13:30～15:30
- 参加機関：大町市、長野県、松本砂防事務所 他 計49名
※一部機関はリモートにて参加
- メイン会場：大町市文化会館 サン・アルプス大町 大会議室（長野県大町市）
- 訓練方式：学習型訓練
- 災害想定：○大雨に起因する大規模崩壊による河道閉塞・地すべり
○市内各所での同時多発的な土砂災害

訓練状況



メイン会場（全景）



メイン会場



サテライト



メイン会場

講評(大町市長)

今後起こりうる災害に対応するため、本訓練で行動や流れを1つ1つ確認することができた。関係機関と日頃から相互の連携と情報共有を一層緊密にすることが市民の命と財産、生活を守ることに繋がる。



大町市長
牛越徹氏

訓練総括

土砂災害は危険の高まりが目に見えづらい難しい現象。関係機関が普段から連携し情報共有していくことが重要。この訓練を1つのステップとして、より一層高いレベルの防災対応へ繋げていただきたい。



蒲原潤一氏
(前国交省保全課長)